

台風による土砂災害

台風に伴う集中豪雨により、山間部で山崩れや土石流などの土砂災害が起こることがあります。堆積した土砂が河床を上昇させ、河川の氾濫を招くこともあります。徳島県美馬市と高知県いの町の例をご紹介します。

■昭和 51 年の台風 17 号 (徳島県美馬市)

昭和 51 年 (1976) 9 月に来襲した台風 17 号は、穴吹町 (現美馬市) に豪雨をもたらし、8 日～13 日の降水量は古宮地区の山間部で約 2,000 ミリに達しました。古宮・口山地区では山腹の崩壊や土石流、河川の氾濫などにより、道路が寸断され、通信が途絶え、人家が押しつぶされたり、流されたり、田畑が埋没するなど集落が全滅するような大惨事に見舞われました。被害は死者 1 人、行方不明 1 人、負傷者 3 人、家屋の全壊 78 戸、半壊 48 戸等に及びました。穴吹町では、被災住民に対して住家移転希望の調査を行い、昭和 53～54 年に集団移転の意向の強い集落の 70 世帯 268 人が移転しました。移転先の初草、拝村、小島の各住宅団地には防災移転記念碑が建立されています。<穴吹町編「災害とたたかう 台風 17 号記録」1979 年、穴吹町誌編さん委員会編「穴吹町誌」1987 年>



■昭和 50 年の台風 5 号 (高知県いの町)

昭和 50 年 (1975) 8 月 17 日、台風 5 号により、伊野町 (現いの町) では 16 時～17 時の 1 時間に 105 ミリの降雨量を記録し、町の市街地の大部分が水没し、町内各地で山や崖が崩壊しました。中でも町北西部の山間地区では土石流が谷を一気にかけ下り、人命や家屋を呑み込みました。被害は死者 23 人、重傷者 16 人、軽傷者 35 人、建物の全壊 128 戸、半壊 100 戸、一部破損 156 戸、床上浸水 2,083 戸等に及びました。被災から 1 ヶ月後の 9 月 17 日に犠牲者の合同慰霊祭が行われ、25 年目にあたる平成 12 年 8 月には追悼式典が挙行されました。神谷割石に 23 人の殉難者の慰霊碑が建立されています。<伊野町総務課編「台風 5、6 号' 75 災害の記録」1977 年、伊野町編「昭和 50 年台風災害 25 年記録誌」2001 年、いの町史編さん委員会編「いの町史」2015 年>

